



○ 草の根パートナー型

平成24年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	Bangladesh
2. 事業名	Bangladesh農村地域におけるエコサン・トイレの普及拡大による生活環境の改善
3. 事業の背景と必要性	日本下水文化研究会はこれまで、農村地域にエコサン・トイレを普及すると共に、住民組織（以下、CBO）を形成し、適切な維持管理技術定着のための活動を実施してきた。本事業では、エコサン・トイレが生産する有機肥料をCBOが経営管理し、有機肥料のビジネス流通モデルの可能性を見出すことにより、運用管理するCBOの自立、エコサン・トイレの適正利用の定着、リボリングファンドによるエコサン・トイレの普及拡大を目指す。
4. プロジェクト目標	CBOによる自立的なエコサン・トイレの普及拡大とし尿資源を活用した有機肥料の利用拡大
5. 対象地域	コミラ県（Muguji, Raichoの2村）、ジェソール県（Sarsha, keshobpurの2村）
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	Bangladeshの農村地域のエコサン・トイレ導入世帯、CBO、村人
7. 期待される成果及び活動	<アウトプット> 1. CBOを主体としたエコサン・マーケットの設立と運用 2. 有機肥料による作物の品質向上 3. 生活環境向上（所得、健康など）そして生活環境意識の（満足度など）追跡検証 4. エコサン・トイレの知見に関するネットワークの構築 <活動> 1-1 CBOコミッティの再形成 1-2 運用ルールとConstitutionの形成 1-3 CBOコミッティによるマネジメント 2-1 農地実験 2-2 有機肥料による作物の品質評価 2-3 有機肥料による作物の市場展開の可能性調査 2-4 MAPの試験製造 3-1 アンケート調査の実施と評価 3-2 井戸水質調査による水系伝染病の低減効果の計測 4-1 セミナーおよびスタディ・ツアーの実施 4-2 ニュースレターの作成・配布 4-3 エコサン・トイレマニュアルの更新
8. 実施期間	2013年7月～2016年7月（3年）
9. 事業費概算額	42,025千円
10. 事業の実施体制	事業活動実施主体：日本下水文化研究会（JADE JAPAN） 相手国実施機関：JADE BANGLADESH 支援機関：BARD（Bangladesh農村開発公社）、LGED（地方行政技術局）、DPHE（公衆衛生工学局）、UNION PARISHAD（ユニオン議会）などの政府機関、BRACなどの現地NGO、JICA、UNICEF等。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 日本下水文化研究会
2. 活動内容	1. 下水文化の調査研究、普及啓発活動の展開。 2. 水文化の発展と成熟に寄与するための活動。 3. 国際協力の活動。